

株式会社 e-moer 共同代表
ジュエリー&オートクチュールデザイナー
渡邊 成



■ 基本情報：

生年月日：1998 年生まれ（27 歳）

出身：東京都杉並区出身

言語：2 か国語（日本語、ビジネス英語）

所属：株式会社 e-moer、「MAQUINN」サブデザイナー兼日本代表

<この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ>

株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com

渡邊成（わたなべ・じょう）氏は、東京銀器（（有）日伸貴金属）の若手ジュエリーデザイナーであり、オートクチュールブランド「MAQUINN」のサブデザイナー兼日本代表。伝統工芸と現代ファッションを融合させた作品で注目を集め、2025年5月には、日本で初めて中国女優ファン・ビンビン氏の衣装・アクセサリを手がけ、中国ファッション誌「F」に掲載された。Z世代を代表するカルチャープレナーの一人として、伝統と革新を横断しながらグローバルな文化発信に挑んでいる。

■ 経歴：

幼い頃から手仕事や美術に親しみ、独自の感性を育む。

医師家系に生まれ日本歯科大学へ進学するも、在学中の20歳の時に、銀師（しろがねし）・上川宗光（かみかわ そうこう）氏と出会い、伝統工芸の奥深さに魅了されジュエリー制作の道へ転身。

「宗光さんの伝統工芸を世界に伝えたい」

伝統工芸に魅了された渡邊は、23歳の時、ビジネスパートナーの金本晃司朗（当時20歳）と出会い、上川宗光と三位一体となり伝統文化を、デザインを通じて現代に昇華するビジネスを展開していきたいと決意する。

2022年に株式会社 e-moer（代表取締役：金本晃司朗、学生起業家）を立ち上げ、伝統職人たちとのパートナーシップを大切にしながらオーダーメイドジュエリーやクリエイティブプロダクトに注力する。これまでに数々のインフルエンサーのジュエリーも担当。Z世代に伝統工芸・東京銀器の良さを伝えてきた。

【転機】「MAQUINN」との出会い

2023年。SNSを通じて知ったインドネシア発の双子デザイナー（Janice Setyawan、Benita Setyawan）へダイレクトメッセージを送ったことが転機となる。

「彼女たちも専攻は歯学部。僕と境遇が同じだった。彼女たちに親近感が湧いたのです」

すぐさまインドネシアへ飛び、彼女たちと会った。いくつかデザインのオーダーを受けたのちに

「MAQUINN」のサブデザイナーとして参加することになる。2024年6月より、「MAQUINN」の日本代表も任されるようにまでになった。

その「MAQUINN」が、同年のForbes「30 UNDER 30 ASIA」に選出され、ファッション業界から注目を集めるほどに。

<この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ>

株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com

その後アストンマーティンが協賛の MAQUINN のコレクションを開催。アクセサリーのデザインを全面的に担当し、パリ・インターコンチネンタルホテルでのランウェイを成功させた。

2025 年 5 月。中国の女優ファン・ビンビンの衣装とアクセサリー制作に携わり、中国の人気ファッション誌「F（風尚誌）」に掲載される。「MAQUINN」との出会いがきっかけに、グローバルなデザイナーとしてステップを一気に駆け上がったのである。



MAQUINN JAPAN の代表およびサブデザイナーとして、中東やアメリカ、中国を中心にグローバル市場への展開を目指している。

また e-moer のブランドで展開する、銀で作られたマウスピース（シーシャ）は、日本国内の Z 世代や在留する中東国籍の方にも大人気で「海外の文化と日本の文化を融合させたシーシャは、MAQUINN のグローバル展開に合わせて拡大していきたい」と考えている。

伝統古来の東京銀器が、若い感性、グローバル感覚を持つ二人「金本と渡邊」の力によって、新たな局面を迎えようとしている。

以上

<この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ>

株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com